

	<p><許容濃度等></p> <p>○ACGIH TLV-TWA : 1.5 mg/ m³</p> <p>不溶性ニッケル 0.2 mg/ m³</p> <p>水溶性ニッケル 0.1 mg/ m³</p> <p>二硫化ニッケル 0.1 mg/ m³</p> <p>○日本産業衛生学会 : 1 mg/ m³、</p> <p>気道感作性第2群</p> <p>皮膚感作性第1群</p> <p>生殖毒性第3群</p>	
<p>テトラエチルチウラムジスルフィド (別名:ジスルフィラム)</p> <p>【97-77-8】</p>	<p><発がん性評価等></p> <p>○発がん性: ヒトに対する発がん性は判断できない</p> <p>・ IARC : 3</p> <p>○皮膚刺激性/腐食性 : 判断できない</p> <p>○眼に対する重篤な損傷性/刺激性 : 判断できない</p> <p>○皮膚感作性 : あり</p> <p>○呼吸器感作性 : 報告なし</p> <p>○反復投与毒性 : LOAEL = 100 mg/人/日</p> <p>○生殖毒性 : 判断できない</p> <p>○遺伝毒性 : 判断できない</p> <p>○神経毒性 : あり</p> <p><許容濃度等></p> <p>○ACGIH TLV-TWA : 2 mg/m³</p> <p>○日本産業衛生学会 : 情報なし</p>	<p>有機ゴム薬品 (加硫促進剤、硫黄供与型加硫剤)、医薬品</p>
<p>二塩化酸化ジルコニウム</p> <p>【7699-43-6】</p>	<p><発がん性評価等></p> <p>○発がん性: ヒトに対する発がん性は判断できない</p> <p>・ IARC : 情報なし</p> <p>・ 日本産業衛生学会 : 情報なし</p> <p>○皮膚刺激性/腐食性 : 判断できない</p> <p>○眼に対する重篤な損傷性/刺激性 : あり</p> <p>○皮膚感作性 : なし</p> <p>○反復投与毒性 : LOAEL = 6 mg Zr/m³</p> <p>○生殖毒性 : 判断できない</p>	<p>ジルコニル石鹼 (塗料乾燥剤、各種撥水剤)、レーキ顔料、触媒、紙・パルプ排水中の微細物の凝集除去と有色物質の無色透明化による公害処理用、その他ジルコニウム化合物の原料</p>

	<p>○遺伝毒性：あり <許容濃度等> ○ACGIH TLV-TWA：5 mg/m³ * TLV-STEL：10 mg/m³ * *（ジルコニウム及びその化合物、Zrとして） ○日本産業衛生学会：設定なし</p>	
<p>メタクリル酸 【79-41-4】</p>	<p><発がん性評価等> ○発がん性：ヒトに対する発がん性は判断できない ・IARC：情報なし ・日本産業衛生学会：情報なし ○皮膚刺激性／腐食性：あり ○眼に対する重篤な損傷性／刺激性：あり ○皮膚感作性：なし ○呼吸器感作性：調査した範囲では、報告は得られていない。 ○反復投与毒性 : LOAEL = 20 ppm (70 mg/m³) ○生殖毒性：判断できない ○遺伝毒性：判断できない <許容濃度等> ○ACGIH TLV-TWA：20 ppm (70 mg/m³) ○日本産業衛生学会：2 ppm (7 mg/m³)</p>	<p>熱硬化性塗料、接着剤、ラテックス改質剤、共重合によるプラスチック改質、イオン交換樹脂、紙・織物加工剤、皮革処理剤</p>

【用語解説】

IARC（国際がん研究機関）の発がん性分類

- 1 : ヒトに対して発がん性がある
- 2A : ヒトに対しておそらく発がん性がある
- 2B : ヒトに対して発がん性の可能性がある
- 3 : ヒトに対する発がん性については分類できない
- 4 : ヒトに対しておそらく発がん性なし

ACGIH：米国産業衛生専門家会議

TLV-TWA : 1日8時間、1週40時間の正規の労働時間中の時間加重平均濃度（連日繰り返しばく露されても大多数の労働者が健康に悪影響を受けないと考えられる濃度）

TLV-STEL : 15分間の短時間ばく露限界

